

## 仕 様 書

- 1 品 名 消防職員用活動服
- 2 規 格 別紙仕様書のとおり
- 3 数 量 活動服上衣（ワッペン付き） 1 4 着  
活動服ズボン 1 4 本  
2 穴ベルト（反射ライン付き） 1 4 本  
プリスト階級章 1 4 個
- 4 納入期限 令和 9 年 1 月 2 9 日（金）
- 5 納入場所 熱海市消防本部
- 6 サイズ 落札業者は、各個人を採寸し、個人仕立てのものとする。

# 熱海市消防職員用活動服仕様書

## 第1 総則

### 1 目的

この仕様書は、熱海市消防本部（以下「熱海市」という。）において購入する消防職員用の冬活動服について、必要な事項を定めることを目的とする。

### 2 概要

冬活動服は、消防職員が着用する物件であり、消防活動に適するものであること。

### 3 冬活動服の条件

この冬活動服に使用する材料・付属品は、全般にわたって十分に検査が行われ、この仕様書のすべてを満たし、仕上がりが優良な製品であること。

### 4 その他

この仕様書の内容について、疑義が生じた場合は、熱海市と協議の上、解決すること。

## 第2 仕様

### 1 使用材料

#### (1) 生地一般

- ア 原糸は糸ムラ、番手ムラ、撚りムラ等の目立たない良質のものを使用すること。
- イ 織上がりは均正で、織キズ、糸節、汚れ等の欠点のないものでなければならない。

#### (2) 表生地

※表生地 (A) とし配色を (C) とする。

(A) 帝人 (株) R79435 (当市指定色)

(B) 混紡率 メタ型アラミド 67%

パラ型アラミド 3%

ポリエステル 20%

難燃レーヨン 10%

(C) 当本部指定生地・色

表生地 (C) の使用箇所は、次のとおりとする。

上衣	台襟内側、胸ポケット挿みヒダ内側、 肩章裏、カフス裏
----	-------------------------------

### (3) 袋地

ポリエステル、レーヨン混紡スレーキとする。

### (4) しん地、マーベルト

しん地、マーベルトは本部の承認を得たものとする。

### (5) その他

#### ア ボタン

尿素樹脂ボタン（径 1.5 cm）を上衣前中心の第一ボタン、肩章、ズボンの尻ポケット、鼻天狗止めに使用する。

#### イ ファスナーを上衣前合わせ、袖口、ズボンの天狗前立てに使用する。

又、座金前かんは、天狗前立てに使用する。

#### ウ 糸

地縫い、飾り縫い、穴かがりは、芳香族ポリアミド糸同系色 #50 とする。

## 2 形状及び寸法

### (1) 形状

ア 上衣は、シャツ型、付け袖とし、前ファスナー、胸左右に両開きファスナー付アウトポケット、肩章及台襟付シャツカラーとする。

イ ズボンは、腰帯付きツータック、裾シングル、裾口調整帯付き、両脇及び尻ポケット付き、腰廻り伸縮（拡張）式とする。

## 3 縫製

### (1) 一般的事項

ア 各部の縫合いは、優良で縫い代が適当であること。

イ 縫い目の飛び、はずれがないこと。

ウ 糸調子は、縫い目が優良で、縫い曲がりのないこと。

エ 縫い目数は次のとおりとする。

・地縫い運針数 12 針以上／3 cm間

・飾りステッチ運針数 12 針以上／3 cm間

オ 飾りステッチ幅約 0.5 cm で、特に指定する部分は、端ミシンとする。

カ 飾りステッチは、表ミシンとする。

キ ボタン穴は、鳩目又は、眠り穴かがりとする。

ク 各部の合票、曲線に十分注意すること。

ケ アイロン仕上げには、十分注意すること。

コ 接着芯を使用する部分は、すべて高圧加熱式芯張りプレス機を用いて、全面接着すること。

サ 布目は、パターン指定通りとすること。

### (2) 上衣

#### ア 襟

(ア) 上襟の剣の長さは、7～8 cm とし、幅は背中心で約 4.5 cm とする。

(イ) 台襟にて上襟を挟み縫いし、身頃に縫い付ける。

(ウ) 上襟は、上襟の周囲（下部を除く）に飾りミシンをかける。

(エ) 台襟中央に、表生地 (A) で幅約 1 cm、長さ約 5.5 cmの襟つりを縫い付ける。

#### イ 袖及びカフス

(ア) 袖は 2 枚袖とし、上袖縫いは地縫い片倒し 1 条のミシン縫いをし、下袖縫いは身頃脇と通し縫いをする。

(イ) 上袖縫い目に、袖口から約 18 cmまで、ファスナーを表から 1 条ミシンで縫い、開き止まりからカフス付け根まで、水かき布を付ける。

(ウ) 袖口カフスに、芯を入れて地縫い返しし、1 条の飾りミシンをかける。外側に深さ約 1.5 cmのヒダを 2 本取り、袖開きの方向へ倒す。

(エ) 左袖上部に、当市指定ワッペンを縫い付ける。

#### ウ 袖付け

袖付けは、身頃のくりをのばさないように、インターロックミシン縫いとする。

#### エ 脇縫い

インターロックミシン縫いとする。

#### オ 胸ポケット

(ア) 左右前身頃に拌みヒダ付きアウトポケットを 2 個付ける。

(イ) ポケットは、端飾りミシンで縫い付ける。

(ウ) ポケット口は外締めファスナー式とする。

#### カ 前合わせ

(ア) 前合わせの開閉は、ファスナー及び、マジックテープ止めとする。

(イ) 上前は、前端より約 4 cm奥に 2 条ミシンで縫い付け、ファスナーテープを身返しに挟み縫いする。

(ウ) 下前は、ファスナーテープを身頃と身返しに挟み、地縫い返しし 1 条の飾り縫いとする。

(エ) 上前に A 面、下前に B 面マジックテープ (横約 2 cm、縦約 3 cm) を第一ボタンの下に 1 個、腹部に 1 個以上縫い付ける。

#### キ 肩章

(ア) 周囲は、地縫い返しし、飾りミシンをかけ、先端にボタン穴をかがる。

(イ) 肩章は、袖付けに挟み、縫い付ける。

(ウ) 袖付け部分は。クロスに飾りステッチをかける。

#### ク ヨーク

(ア) 後ヨークは 2 枚重ねとする。後身頃と地縫い返しし、1 条の飾りミシンを掛ける。

(イ) 背ヨークと後身頃の切り替え部に当本部指定色(ブルー)のパイピングを挟み縫い付ける。

#### ケ 標識

(ア) 左胸ポケット上部に、当市指定色にて 熱海消防 と刺繍を入れる。

(イ) 左胸ポケット上部から 2cm 上の位置に、個人名・名札取付け用マジックテープ横約 4cm、縦約 2.5cm の B 面マジックテープを縫い付ける。

(ウ) 後ヨークの上段に「熱海市消防本部」、下段に「ATAMI F.D.」と当市指定色で直刺繍を入れる。

コ 階級章取付け用マジックテープ

右胸ポケットフラップ上部から2 cm上の位置に、横約4 cm、縦約2.5 cmのB面マジックテープを縫い付ける。

サ 身返し

身返し幅は、上部裾ともに約5 cmとし、芯を入れ裁ち目は芯とともにオーバーロックかがりをする。

シ 裾

三つ折りの平裾とする。

ス 片布及びサイズ札

横約5 cm、縦約7 cmの当市指定片布を左胸ポケット裏に縫い付ける。サイズ札は、台襟中央下部に身頃との間に挟み縫いとする。

(3) ズボン

ア 尻ポケット

(ア) 片玉縁作りとし、左右に各1個付ける。

(イ) ポケット周囲は端ミシンを掛け、口の両端は閉止めをする。

(ウ) 向当布は幅4 cm以上、裁ち目はオーバーロックかがりをし、袋地に縫い付ける。

(エ) 左のみ中央上部にボタン穴をかがり、向当布にボタンを縫い付ける。

(オ) ポケット袋は、地縫い返しし、飾りステッチをかける。

(カ) 上端は、表裏とも必ず1 cm以上腰飾りにかかるようにする。

イ 脇ポケット

(ア) 斜めポケットを左右両脇に各1個付ける。

(イ) 口布は、最大で2 cm以上折り返し、約0.5 cmの飾りステッチを入れ、向当布は脇縫い目から最大で5 cm以上とし、それぞれ袋地に縫い付ける。

(ウ) 口布、向当布とも端の裁ち目はオーバーロックかがりをする。

(エ) 口の下端は閉止めをし、ポケット袋は地縫い返しして飾りステッチをかけ、上端は表、裏とも必ず1 cm以上腰帯にかかるようにし、ポケット袋の縫い付けは可能な限り最後まで縫うようにする。

ウ タック

外向きタックを、左右に各2本取る。

エ 腰ダーツ

左右腰後部に各2本取り、片倒しする。

オ 天狗及び前立て

(ア) 天狗は芯を入れ、裏と地縫い返しし、奥はオーバーロックかがりをする。

(イ) 天狗の鼻は島で持ち出し、先端にボタン穴をかがる。

(ウ) 前立ては芯を入れ、表裏を地縫い返しし、奥の裁ち目は芯とともにオーバーロックかがりをする。

- (エ) 前立て飾りは、幅約 3.5 cmとする。
- (オ) 天狗、前立て上部に座金前かんを付ける。位置は、腰帯幅の中央にする。
- (カ) 小股の上のファスナー止まりに、天狗裏側から前立てとともに冑を入れる。

#### カ ファスナー付け

- (ア) 天狗側は身頃端を折り、天狗との間にファスナーを挟み、縫い付ける。
- (イ) 前立て側は、前立て裏にファスナーを 2 条縫いで縫い付ける。

#### キ 脇縫い及び内股縫い

- (ア) 脇縫いは地縫い片倒し飾り縫い、内股縫いは地縫い割りの二重縫い又は環縫いミシンとする。
- (イ) 裁ち目は、オーバーロックかがりをする。

#### ク 尻縫い

- (ア) 地縫い割りとし、二重縫い又は環縫いミシンとする。
- (イ) 上部の縫い代は 2 cm以上とし、裁ち目はオーバーロックかがりをする。
- (ウ) 棒シックは、またぐりに沿って、ミシン縫いする。

#### ケ 腰裏

- (ア) マーベルトを使用し、前立て側両端はそれぞれ天狗と前立ての前かんの下まで入れる。
- (イ) 後部（尻縫い目）は、縫い割りとする。
- (ウ) 左右脇縫い目の箇所、後身側の腰裏下に前身側の腰裏が入るようにする。
- (エ) 後身側の腰裏の下端は、脇縫いの箇所で、表生地に通して、冑止めをする。

#### コ 腰帯

- (ア) 腰は 3.5 cmの腰帯付きとし、脇縫いの箇所で、後身側の腰帯下に前身側の腰帯が入るようにする。
- (イ) 腰帯内部に伸縮テープを入れ、前身側と後身側が互いに引き合い、左右各 2.5 cm以上（ウエスト周りとして 5 cm以上）腰廻りの拡張が出来るようにする。

#### サ バンド通し

- (ア) 前身頃タック、脇縫い、尻縫い両脇、後身ポケット上の 8 本付けとする。
- (イ) ループは、幅約 1.5 cm、長さ約 5 cmとする。
- (ウ) 取付け位置は、ズボン上端より約 1 cm下がりとする。

#### シ 裾

裾は折り返し幅 3 cmにて、端縫いをする。尚、裾口に帯を縫い付け絞れる事。

#### ス 片布及びサイズ札

横約 5cm、縦約 7 cmの当市指定片布を左脇ポケット袋地に縫い付ける  
サイズ札は、右前のバンド通し下部に挟み縫いをする。

### 第 3 補 則

#### 1 梱 包

プレス後、適切な方法で折り、各個人のサイズごとに上衣、ズボンを組合わせた状態でビニール袋に収納すること。

サイズ表 上衣

単位 cm

サイズ	バスト	肩幅	袖丈	着丈
AS	100	43	54	80
AM	105	45	56	80
AL	110	47	58	83
ALL	115	49	60	83
A3L	120	51	63	83
BS	110	46	53	80
BM	115	48	55	80
BL	120	50	57	83
BLL	125	52	58	83
B3L	130	54	62	83

ズボン

単位 cm

サイズ	ウエスト	ワタリ幅	裾口	股下
1号	70	33.5	23	74
2号	73	34	23	
3号	76	34.5	24	
4号	79	35.5	24	
5号	82	36	24	
6号	85	36	24	
7号	88	37	24	
8号	91	38	25	
9号	95	39	25	
10号	100	41	25	
11号	105	42.5	25	
12号	110	44	26	

